

■ 活動記録 ■

◆ 研究成果および業績 ◆

先端社会研究所 2015 年度活動記録一覧

■ 定期研究会 ■

第 1 回先端社会研究所定期研究会「在日コリアンの移動と生活」

共同研究「日本班」第 7 回研究会

日 時：2015 年 6 月 19 日（金）15:15～17:45

場 所：社会学部棟 セミナールーム 2

報告者：李 昌益（済州大学校在日済州人センター）

題 目：在日済州人の親睦会

報告者：山口 覚（関西学院大学文学部教授）

題 目：「宗教」の場で出会うコリアンと日本人－エスニック宗教文化の周辺

報告者：許 南春（済州大学校在日済州人センター）

題 目：在日済州人、境界人としての意味と役割

第 2 回先端社会研究所定期研究会

共同研究「南アジア／インド班」第 8 回研究会

日 時：2015 年 6 月 24 日（水）16:00～18:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報告者：栢木 清吾（神戸大学国際文化学研究科研究員）

題 目：British Subject at Bay－「駒形丸事件」とイギリス帝国下の南アジア系移民

司会者：鈴木慎一郎（関西学院大学社会学部教授）

第 3 回先端社会研究所定期研究会

共同研究「中国国境域／雲南班」第 4 回研究会

（科学研究費・基盤研究（C）「中国雲南省の少数民族における文化変容に関する社会学的研究」との共催）

日 時：2016 年 1 月 23 日（土）15:00～17:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報告者：梶谷 懐（神戸大学大学院経済学研究科教授）

題 目：「民意」のゆくえと政府のアカウントビリティ

司会者：西村 正男（関西学院大学社会学部教授）

■「先端企画セクション」先端研セミナー■

第1回先端研セミナー

日時：2015年6月12日（金）15:30～17:30

場所：先端社会研究所セミナールーム

報告者：野口 裕二（東京学芸大学教育学部教授）

題目：臨床社会学の現在：実践理論と社会の変化をめぐって

司会者：盛山 和夫（先端社会研究所所長／関西学院大学社会学部教授）

第2回先端研セミナー

日時：2015年7月1日（金）17:00～18:30

場所：先端社会研究所セミナールーム

報告者：Efrat Ben-Ze'ev（国際学部客員教授）

題目：Imposed Silences and Self-censorship: The changing tale of war among 1948 Israeli veterans

司会者：盛山 和夫（先端社会研究所所長／関西学院大学社会学部教授）

第3回先端研セミナー

日時：2015年7月18日（土）17:15～19:00

場所：大阪梅田キャンパス

報告者：鈴木 謙介（社会学部准教授）

題目：食とグローバル化の社会学－ポスト“マクドナルド化”のフードスケープ

司会者：盛山 和夫（先端社会研究所所長／関西学院大学社会学部教授）

第4回先端研セミナー

日時：2016年3月7日（月）15:00～17:00

場所：先端社会研究所セミナールーム

報告者：盛山 和夫（先端社会研究所所長／社会学部教授）

題目：なぜ公共社会学か－数理社会学の夢と挫折を越えて

司会者：佐藤 哲彦（先端社会研究所副所長／関西学院大学社会学部教授）

第5回先端研セミナー “Mass Violence and Historical Culture”

日時：2016年3月14日（月）14:00～17:00

場所：先端社会研究所セミナールーム

報告者：Kees Ribbens（オランダ戦争資料研究所上級研究員）

Ralf Futselaar（オランダ戦争資料研究所研究員）

題目：The NIOD in Dutch Historical Culture

報告者：Kees Ribbens

題 目：What Wikipedia can tell us about contemporary public interest in the Second World War. A transnational comparison of using historical entries in a global on-line encyclopedia

報告者：Ralf Futselaar

題 目：Mapping Emotions in Public Discourse about War and Violence

司会者：荻野 昌弘（関西学院大学社会学部教授）

■シンポジウム■

「薬害と現代社会をめぐって－薬害の被害経験から考える」

日 時：2016年3月1日（火）13:30～17:00

場 所：西宮上ヶ原キャンパス 図書館ホール

報告者：増山ゆかり（公益財団法人いしずえ常務理事）

「薬害から学ぶ」

花井 十伍（全国薬害被害者団体連絡協議会代表世話人）

「薬害被害者になるということ」

本郷 正武（和歌山県立医科大学医学部准教授）

「〈薬害〉経験の理解のために」

コメンテーター：種田 博之（産業医科大学医学部講師）

司会者：佐藤 哲彦（先端社会研究所副所長／社会学部教授）

■全体研究会■

「文化的多様性を尊重する社会の構築に向けて」

日 時：2016年2月10日（水）13:30～17:30

場 所：西宮上ヶ原キャンパス 先端社会研究所セミナールーム

報告者：西村 正男（社会学部教授）

「永遠の聶耳」

難波 功士（社会学部教授）

「在日コリアン表象の変遷」

鳥羽 美鈴（社会学部准教授）

「旧宗主国の言語で書くということ」

ディスカッサント：平山健二郎（経済学部教授）

山田 真裕（法学部教授）

大石 太郎（国際学部准教授）

司会者：盛山 和夫（先端社会研究所所長／社会学部教授）

■ワークショップ■

先端企画セクション：ワークショップ

「ダイアローグ－ケアする者とされる者との関係性について考える」

日時：2015年4月22日（水）15:30～17:30

場所：社会学部棟 共同学習室

シニアスカラー：前田 拓也（神戸学院大学現代社会学部准教授）

ジュニアスカラー：矢崎 千華（社会学研究科大学院研究員）

飯塚 諒（社会学研究科博士課程後期課程）

司会者：白波瀬達也（社会学部准教授）

■研究活動■

関西学院大学先端社会研究所－雲南省社会科学院交流

〈現地調査〉

期間：2015年7月31日（金）～8月8日（土）

場所：中国雲南省昆明市、新平イ族タイ族自治州

調査出張者：荻野 昌弘（先端社会研究所研究員／社会学部教授）

西村 正男（先端社会研究所研究員／社会学部教授）

佐藤 哲彦（先端社会研究所副所長／社会学部教授）

林 梅（先端社会研究所研究員／社会学部准教授）

村島 健司（先端社会研究所専任研究員）

概要：雲南省新平イ族タイ族自治州、漢族・タイ族・イ族・ハニ族など各村落における、市場経済の浸透、観光開発、ダム開発などに伴う、人々の移動及び文化変容に関する現地調査

海外現地調査

調査地：インド デリー及びナーグプル

期間：2015年10月19日（月）～25日（日）

調査出張者：関根 康正（先端社会研究所研究員／社会学部教授）

鳥羽 美鈴（先端社会研究所研究員／社会学部准教授）

福内 千絵（先端社会研究所専任研究員）

概要：被差別民によるヒन्दゥー教徒から仏教徒への改宗式を中心とした参与観察

科学研究費助成事業研究プロジェクト

研究テーマ：中国雲南省の少数民族における文化変容に関する社会学的研究

（基盤研究（C）、2014年～2016年）

研究代表者：林 梅（先端社会研究所研究員／関西学院大学社会学部助教）

研究分担者：佐藤 哲彦（先端社会研究所副所長／関西学院大学社会学部教授）

荻野 昌弘（先端社会研究所研究員／関西学院大学社会学部教授）

西村 正男（先端社会研究所研究員／関西学院大学社会学部教授）

村島 健司（先端社会研究所専任研究員）

■教育事業■

リサーチコンペ 2014 年度採択者による成果報告会

日時：2015 年 5 月 30 日（土）9:30～12:00

場所：先端社会研究所セミナールーム

報告者 (採択時所属研究科/身分)	研究テーマ
藤井 和子 (社会学研究科大学院研究員)	戦後開拓を生きる－石垣島「自由移民」の生
谷岡 優子 (社会学研究科博士課程後期課程)	地方花柳界の文化資源化－模索と葛藤をめぐって
矢崎 千華 (社会学研究科大学院研究員)	ナラティブとナラティブの接続に関する社会学的研究 －明治時代の投書を事例として
加藤 晴美 (社会学研究科博士課程前期課程)	戦後・名古屋の都市イメージ作りと名古屋駅における 排除 －1964 年東京オリンピックの際のクリアランスを事例に

2015 年度リサーチコンペ

応募期間：2015 年 5 月 1 日（金）～6 月 1 日（月）

書類選考：2015 年 6 月 2 日（火）～6 月 8 日（月）

プレゼンテーション：日時：2015 年 6 月 20 日（土）10:00～14:20

場所：先端社会研究所セミナールーム

申請件数：10 件、採択件数：5 件

報告者 (所属研究科/身分)	研究テーマ
笹倉 麻衣 (総合政策研究科博士課程前期課程)	分譲マンションにおける共用施設の設置・利用とコミュニティ形成に関する考察
前田 竜孝 (文学研究科博士課程前期課程)	小規模漁業者による漁業種類の選択課程とその実態 －大阪府岬町深日地区を事例に
生井 達也 (社会学研究科博士課程後期課程)	労働/非労働の二元論を超えて －インディー・ミュージシャンへの人類学的考察
江崎那留穂 (国際学研究科博士課程前期課程) 吉田 夏帆 (国際学研究科博士課程前期課程)	ネパールにおける低位カーストおよびエスニック・マイノリティの修学実態に関する研究 －M 7.8 の大震災による影響
掛橋智佳子 (言語コミュニケーション文化研究科博士課程前期課程)	職場に必要な「コミュニケーション」の分析 －定住外国人と共に働ける職場を目指して
三隅 貴史 (社会学研究科博士課程前期課程)	神輿会のフォークロア －東京圏の都市祭礼を支える人びと
智原あゆみ (社会学研究科博士課程後期課程)	承認に関する意識の測定尺度の作成 －計量社会意識論のアプローチを用いて

オーストラリア国立大学における **Australia-Japan Graduate Conference 2015** への参加

日 時：2015年8月3日（月）～4日（火）

引率者：辛島 理人（先端社会研究所専任研究員）

参加者（所属研究科／身分）	報告テーマ
飯塚 諒 （社会学研究科博士課程後期課程）	The interaction among hard-of-hearing person and interlocutor
村田 桃子 （社会学研究科博士課程前期課程）	Machikon : A recent tendency of encounter
藤井 亮祐 （社会学研究科博士課程前期課程）	Shukatsu : The transformation of funeral

院生企画による研究会

「断片化の社会学」班 第1回研究会

日 時：2015年11月21日（土）14:00～17:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報告者：山家 悠平（大手前大学学習支援センター）

題 目：戦前期における遊廓と現代社会における労働を考える

－近代女性史と社会学のはざまを乗り越えて

コメンテーター：金 太宇（災害復興制度研究所 リサーチアシスタント）

司会者：奥田 絵（社会学研究科博士課程前期課程）

「人口減少時代の地方祭礼・伝統芸能」班 第1回研究会

（理論民俗学研究会第3回研究会）

日 時：2016年1月9日（土）10:00～17:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報告者：Lisa Gabbert 氏（Utah State University）

題 目：アメリカ民俗学の現状

総合討論題目：日米民俗学の方法論をめぐって

指定討論者：小田島建己（東北大学大学院文学研究科 専門研究員）

司会者：谷岡 優子（社会学研究科博士課程後期課程）

「人口減少時代の地方祭礼・伝統芸能」班 第2回研究会

日 時：2016年2月27日（土）9:00～12:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報告者：俵木 悟（成城大学 文芸学部文化史学科准教授）

司会者：谷岡 優子（社会学研究科博士課程後期課程）